

平成28年度事業報告

最近の滋賀県の観光の動向を見ると、平成27年の観光客入込数（平成27年滋賀県観光入込客統計調査）は、延べ約4,794万人（前年比3.5%増）、また宿泊者数も約382万人（前年比15.1%増）といずれも増加し過去最高となった。

こうした流れの中で、本県の宿泊旅行者数（観光庁宿泊旅行統計調査）は、平成26年は前年比113%、平成27年は前年比116%と大きく伸びてきたが、平成28年は約468万人泊、前年比86.7%と減少し、うち、外国人宿泊者数も、平成26年は前年比175%、平成27年は前年比207%と急増してきたが、平成28年には約47万人泊、前年比98%とほぼ横ばいとなった。また、この宿泊者数の大きな伸びに比べて観光入込客数が伸びておらず、県内の周遊につながっていない懸念がある。なお、滋賀県のブランド力（地域ブランド調査2016）は、前年度の41位から上昇したものの、33位にとどまっている。

こうした中で 滋賀県においては、「人口減少を見据えた豊かな滋賀づくり総合戦略」（平成27年10月）が策定され、観光宿泊者の増加と観光消費額の拡大をめざし、「滋賀の素材・魅力磨き上げプロジェクト」を掲げ施策が展開されている。

これらを踏まえ、当ビューローは、滋賀県「観光交流」振興指針に位置づけられた「観光交流」の振興を担う中核的組織」として、会員である県や市町、観光関係団体・事業者をはじめさまざまな主体と連携しつつ、平成28年2月に認定をうけた県域全体を対象とする日本版DMO候補法人として体制の強化を図りながら、中期計画（目標年度：平成30年度）に掲げる3つの目標の達成を目指し、地方創生のための新型交付金などを活用して事業を展開した。

特に、県が平成30年度に計画している大型観光キャンペーンを見据え、平成27年度に認定された日本遺産を生かした「日本遺産 滋賀・びわ湖 水の文化ぐるっと博」をプレキャンペーンとして平成29年度に開催することを目指し、魅力的な観光素材の開発を進めたほか、受入態勢の整備、おもてなしの充実など各地域の観光まちづくりに対する支援の充実を図った。

また、インバウンド観光客について、県内での周遊と消費額を高めるため、増加している個人旅行者（FIT）向けの情報提供や、新たな地域からのインバウンド客誘致などに取り組んだ。

さらに、物産振興について、県内外における販路拡大を図るとともに、観光振興と一体的に本県の物産の魅力の発信に努めた。

中期計画目標1「観光地「滋賀・びわ湖（BIWAKO）」の認知度向上」については、「虹色の旅へ滋賀・びわ湖」をキーワードとして、市町・観光協会等と連携した観光キャンペーンのほか、新たな動画の作成、交通広告や雑誌等への記事掲載などにより情報発信を強化した。また、「日本遺産 琵琶湖とその水辺景観 祈りと暮らしの水遺産」や「ビワイチサイクルツーリズム」などのPRに努めた。

また、ウェブサイトによる情報発信については、常に旬のコンテンツの充実に努めたほか、SNSを活用した情報発信に努めた。また、平成27年度に整備した4か国語の訪日外国人用ウェブサイトもITCの活用により12か国語対応へ機能を拡充した。

物産振興事業では、これまでからの高島屋日本橋店での「大近江展」に加えて、新たに近鉄草津店での「近江湖国のうまいものフェア」などを開催し、併せて積極的な観光宣伝活動も

行った。また、これまでの消費者向け(B to C)に加え、バイヤー等を対象とした(B to B)事業としてスーパーマーケットトレードショーに初出展した。

また、首都圏において、ゆめぷらざ滋賀による観光物産情報の発信を継続するほか、県で予定している首都圏における情報発信拠点への運営参画について検討を進めた。

中期計画目標2「滋賀ならではの」の素材や強みを生かした特色あるツーリズムの展開については、国内旅行誘致では、平成29年度開催予定の「日本遺産 滋賀・びわ湖 水の文化ぐらっと博」の実施に向け、多彩な魅力を磨き上げ、観光プログラムの造成の促進を図った。

また、滋賀のおもてなし旅「びわ湖灯り絵巻」の拡充など、魅力的な観光素材の開発に引き続き取り組み、こうした観光素材や旬の情報の旅行会社への提供、現地研修会の開催などによる誘客の促進を図るほか、ピワイチアプリの活用などによる個人観光客の誘客にも努めた。

国際観光事業では、ターゲットを意識しさまざまなツールを活用した情報発信の強化や、外国人に魅力ある新たな周遊ルートの開発、訪日客向けのツールの作成など、受入体制の整備を進めた。また、これまで重点的に取り組んできた東アジアや、市場の成長が見込まれる東南アジアなどからの誘客のほか、本県の特色ある自然、歴史、文化といった観光資源への関心が見込まれる欧米についても取組に着手した。

教育旅行誘致では、大手旅行エージェンツの教育旅行担当者現地研修会の拡充を図るとともに、誘致キャラバンを九州各県および広島・岡山でも実施した。また、首都圏の学校長等が出席する研究協議会において誘致PRを実施した。

また、コンベンションなどのMICEの誘致では、地方都市コンベンション関連団体に参画し、学会事務局や旅行エージェンツなどを対象とした合同セミナー・合同セールスを実施したほか、利用可能施設やユニークベニュー・エクスカージョン、支援内容などを盛り込んだ新たなコンベンションガイドブックを作成した。

中期計画目標3「来訪者、居住者双方がともに満足出来る「観光交流」推進の体制づくりでは、県域全体を対象とする地域連携DMO候補法人として、各種観光データ等の継続的な収集・分析を行い、市町、観光関連団体、観光事業者、ボランティア、住民などの多様な関係者が推進する観光まちづくりを支援した。

基盤整備については、平成28年度より事務局の組織を企画総務部、広報情報部、国内誘客部、海外誘客部、物産振興部の5部体制に改編するとともに、県から新たに派遣職員6名を受入れ、組織体制の強化を行った。また、組織の中核となるべきプロパー職員を平成29年度より新規採用するための準備を行った。

また、事務局と会員、あるいは会員相互のコミュニケーションの充実を図るため、県内各地域において地域懇談会を開催したほか、会員あての情報提供メールである会員通信についても引き続き発行した。さらに、市町・観光協会等など、観光素材の開発や観光まちづくりに関わる各種団体等との連携を強化した。

I 諸会議の開催

1 定時総会

日 時 平成28年6月3日(金) 14時00分～15時50分

場 所 びわ湖大津プリンスホテル 「プリンスホール」
表 彰 平成 28 年度 観光物産振興功労者の知事表彰
平成 28 年度 観光物産事業功労者等の会長表彰
議 事 第 1 号議案 平成 27 年度計算書類承認について
第 2 号議案 理事の選任について
報 告 ・平成 27 年度事業報告について
・平成 28 年度事業計画、収支予算ならびに資金調達および設備投資の見込みに
ついて

2 理事会

(1) 第 1 回理事会

日 時 平成 28 年 5 月 18 日 (水) 13 時 00 分～15 時 00 分
場 所 コラボしが 21 3 階「中会議室 2」
議 事 第 1 号議案 会員の入会承認について
第 2 号議案 平成 27 年度事業報告および決算(案)について
第 3 号議案 平成 28 年度観光物産事業功労者等の選考について
第 4 号議案 平成 28 年度定時総会について
第 5 号議案 宣伝キャンペーン委員会委員の選任について
報 告 ・常務理事等の職務の執行状況について

(2) 第 2 回理事会 (決議の省略)

決議があったものとみなされた日

平成 28 年 5 月 26 日

決議があったものとみなされた事項の内容

第 1 号議案 定時総会 決議事項 理事の選任について

(3) 第 3 回理事会 (決議の省略)

決議があったものとみなされた日

平成 28 年 8 月 22 日

決議があったものとみなされた事項の内容

第 1 号議案 会員の入会承認について

(4) 第 4 回理事会

日 時 平成 28 年 11 月 28 日 (月) 13 時 00 分～14 時 50 分
場 所 ホテルポストプラザ草津びわ湖 12 階 クロケットルーム
議 事 第 1 号議案 会員の入会承認について
報 告 ・平成 28 年度執行状況報告について
・平成 29 年度県予算編成等について
・今後のびわこビジターズビューローの組織体制について
・会員資格の喪失について

(5) 第5回理事会

- 日 時 平成 29 年 3 月 17 日 (金) 14 時 00 分～16 時 00 分
場 所 コラボしが 21 6 階 「労働福祉セミナー室」
議 事 第 1 号議案 会員の入会承認について
第 2 号議案 平成 29 年度事業計画(案)、収支予算(案)ならびに資金調達および設備投資の見込みについて
第 3 号議案 公益社団法人びわこビジターズビューロー委員会規程の一部を改正する規程(案)について
報 告 ・平成 28 年度各部会等の事業進捗状況について
・首都圏情報発信拠点について
・JERTO 滋賀貿易情報センターの設置について
・会員資格の喪失について

(6) 第6回理事会 (決議の省略)

決議があったものとみなされた日

平成 29 年 3 月 24 日

決議があったものとみなされた事項の内容

第 1 号議案 公益社団法人びわこビジターズビューロー事務局長の任免について

3 委員会

(1) 企画委員会

ア 第 1 回

- 日 時 平成 28 年 11 月 21 日 (月) 9 時 30 分～11 時 00 分
場 所 コラボしが 21 6 階 「労働福祉セミナー室」
報 告 ・平成 29 年度の主要な事業について
・予算要望について
・中期計画の進捗状況について

イ 第 2 回

- 日 時 平成 29 年 3 月 6 日 (月) 15 時 00 分～17 時 00 分
場 所 コラボしが 21 6 階 「労働福祉セミナー室」
議 事 ・平成 29 年度事業計画(案)および収支予算(案)について
・公益社団法人びわこビジターズビューロー委員会規程の改正について
・中期計画の見直しについて

(2) 宣伝キャンペーン委員会

- 日 時 平成 29 年 2 月 22 日 (水) 13 時 30 分～15 時 30 分
場 所 コラボしが 21 6 階 「労働福祉セミナー室」
議 事 ・平成 29 年度事業計画(案)および収支予算(案)について
・公益社団法人びわこビジターズビューロー委員会規程の改正について
報 告 ・平成 28 年度事業進捗状況について
・首都圏情報発信拠点について

II 事業執行状況

1 観光物産情報発信事業

観光物産情報ウェブサイトをはじめ各種のメディアを活用するとともに、JR西日本等と共同して観光キャンペーンを推進し、滋賀県の多様な魅力や多様な観光・物産資源を継続的に発信し誘客に努めた。また、県外各地でのキャンペーンの出展や旅行会社を対象にした商談会等により、滋賀の魅力発信や旅行商品化の提案に取り組んだ。

(1) 観光物産情報発信事業

① 観光物産情報ウェブサイトの管理運営

観光情報を効率的、効果的に発信するため、コンテンツの充実を図りつつ、県内観光物産関連情報を集約して発信するとともに、フェイスブックなどのSNSを活用した観光物産情報の発信に努めた。

- ・観光物産情報データベースの運営
- ・各種データベースの更新
- ・メールマガジン発行（滋賀・びわ湖 とれっトレニュース） 毎月1回
- ・ホームページの閲覧状況

セッション数 4,194,805 件

ユーザ数 2,667,825 件

ページビュー数 10,655,848 件

② パブリシティの展開

マスコミ事情に精通したパブリシティ専門会社を一部活用しながら、プレスツアーや個別の取材誘致等により観光情報を効果的に発信した。

ア プレスツアーの実施および支援

- ・「女性を魅了する滋賀・びわ湖」

期 日：平成28年11月30日（水）～12月1日（木） 1泊2日

参加者：プレス 5社6名



- ・「日本遺産 滋賀・びわ湖 琵琶湖とその水辺景観を訪ねて」

期 日：平成29年3月2日（木）～3月3日（金） 1泊2日



- ・日本旅のペンクラブ・プレスツアー 支援

「湖北湖西の日本遺産とユネスコ無形文化遺産登録予定長浜曳山祭、長浜盆梅展、田舎暮らし体験をめぐる旅」

期 日：平成28年11月23日（水）～24日（木） 1泊2日

イ ニュースリリースおよびメールマガジン

- 6月 滋賀・びわ湖 夏の新スポット情報！
- 8月 白鬚神社ライトアップ！開催
- 10月 文化の秋 10 月オススの滋賀県 いちおしイベント
- 11月 国宝彦根城「錦秋の玄宮園ライトアップ」など
- 1月 滋賀県内 20 会場で出会えるお雛さま！2017 滋賀 びわ湖のひな人形めぐり
- 1月 県内 8 会場で「びわ湖灯り絵巻」虹色イルミネーション開催
- 2月 「第 29 回琵琶湖夢街道 大近江展」開催
- 3月 日本遺産を船で楽しむ 春のオススメ 5 選
- 3月 平安時代から続く「日本遺産・日吉大社」山王祭と「ユネスコ無形文化遺産・日本三大山車祭」長浜曳山まつり

③ 観光キャンペーン（JR 西日本等共同事業）

JR 西日本と共同して県内の観光資源を生かした周遊観光ルートを設定し、滋賀ならではの観光素材の充実と情報発信などにより、更なる観光誘客に取り組んだ。

ア 観光情報誌「滋賀たび」の発行

県内の各市町と連携し観光情報を集約、総合パンフレットとして JR 西日本エリアを中心に情報発信を行った。

・年 4 回発行

・発行部数 JR 西日本の各駅置き 9 万部、県内 3 万部、他 3 万部

(ア) 夏号 「訪れるたび “キュン” する滋賀」

体験・滋賀の博物館ガイド、日本遺産を巡ろう！など

(イ) 秋号 絶景の時間、彩りの時間、光りの時間、日本遺産を巡ろう！など

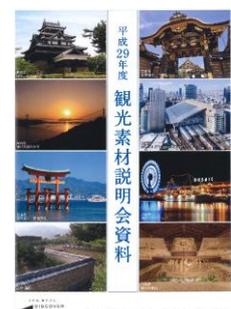
(ウ) 冬号 味わいの時間、ぬくもりの時間、情景の時間、日本遺産を巡ろう！など

(エ) 春号 開花の時間、アートの時間、憩いの時間、日本遺産を巡ろう！など



イ 旅行会社への観光素材の提供

- (ア) 「日本遺産 滋賀・びわ湖 水の文化ぐるっと博」の素材提案
- (イ) 「滋賀・びわ湖フリーきっぷ」紹介
- (ウ) 「DISCOVER WEST ハイキング地元ガイドとまち歩き」
甲賀忍びの里、今津、五個荘、蒲生野、草津、長浜、余呉、
大津、近江神宮、彦根、信楽焼窯元の 11 コースを提案
- (エ) 「お詠えの旅」



近江の麻着物、草津焼、近江八幡の木珠、近江のシャツ（麻）などを提案

ウ JRで行く滋賀のまち歩きスタンプラリー

県内各地域の連携をテーマに WEB アプリで観光客を誘導するスタンプラリーを実施し、スタンプポイント箇所の観光施設等では、おもてなし体制の支援を行った。

4月「お城めぐり」



10月「ロケ地めぐり」



1月「地酒めぐり」



エ 旅行会社等へのアプローチ

会員施設、市町観光協会等と連携し、旅行商品の造成促進を図った。

(ア) 平成 28 年 9 月 1 日（木）～ 2 日（金）

「旅行会社商品企画造成担当者意見交換会」

会 場：北ビワコホテルグラツィエ

参加者：旅行会社 18 社 52 名 市町・会員 71 名



(イ) 平成 29 年 2 月 3 日（金）

「中国・四国旅行会社商品企画造成担当者意見交換会」

会 場：ホテルグランヴィア広島

参加者：旅行会社 9 社 9 名 市町・会員 17 名



④ 観光展出展事業

市町、観光協会、広域の観光振興協議会等とともに、全国各地で開催された観光展に出展し、滋賀の魅力を PR した。

ア 夏たびフェア in 岡山（イオンモール岡山）

平成 28 年 7 月 2 日（土）～ 3 日（日）

参加：JR 西日本、四国、九州エリアの各県および
企業 14 団体

県内から草津市、守山市、栗東市、野洲市、
彦根市、長浜市

イオンモール来館者数 2 日 61,100 名

3 日 66,200 名



- イ ツーリズムEXPOジャパン（東京ビッグサイト）**
 平成 28 年 9 月 22 日（木）～25 日（日）
 びわ湖近江路観光圏（長浜市、米原市、彦根市）、
 日本遺産「水の文化」ツーリズム推進協議会と合同出
 展、長浜曳山祭りブースと連携して展開
 参加 140 か国・地域から 1,181 企業・団体
 来場者数 185,844 名



- ウ おいで～な滋賀「虹色の旅へ。滋賀・びわ湖」
 （名古屋金山）**

平成 29 年 1 月 14 日（土）
 滋賀県各市町の特産品、グッズの販売を併せて実施。
 参加 県内の 6 地域の広域観光協議会



- エ 列車で行こう関西へ 観光キャンペーン（博多天神）**

平成 29 年 1 月 27 日（金）～28 日（土）
 参加 JR 西日本、滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、
 兵庫県、観光事業者



- オ 「虹色の旅へ。滋賀・びわ湖」（イオンモール広島）**

平成 29 年 2 月 4 日（土）～5 日（日）
 参加 県内 6 地域の広域観光協議会

- カ 旅まつり名古屋**

平成 29 年 3 月 18 日（土）～19 日（日）
 参加 観光：長浜市
 物産：2 社



⑤観光案内・観光相談業務

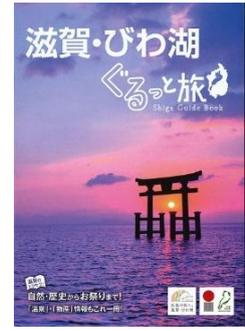
観光・物産の問い合わせ等に対応するため、電話およびメールによる案内・相談に対応した。

・電話による問い合わせ	1,646 件
・メールによる問い合わせ	300 件
・ビューロー事務所への来訪	53 件
・観光パンフレット等送付依頼件数	569 件

⑥ 観光パンフレット作成事業

滋賀県観光マップおよび観光パンフレット
（滋賀・びわ湖ぐるっと旅）を作成した。

滋賀観光マップ 150,000 部
観光パンフレット 65,000 部



⑦ ビワイチ観光ウオーキング認定事業

琵琶湖を歩いて一周した人を「ビワイチ観光ウオーカー」として認定するとともに、コース上のスタンプポイントの現地確認や、各箇所のスタンプメンテナンスを随時実施した。
ビワイチ観光ウオーカー 認定件数： 114 名

2 「ようこそ滋賀」魅力発信事業

「歴」、「食」、「遊」、「癒」、「観」、「買」、「美」といった多彩な魅力を有する滋賀県を「虹色の旅へ。滋賀・びわ湖」をキーワードとして、メディアミックスにより発信した。

(1) 特徴ある映像コンテンツの作成

「虹色 Beautiful, SHIGAー滋賀・びわ湖」をテーマに、滋賀の様々な美しい情景を映像に収めて、滋賀の絶景を「虹」で表現し、3分に編集した4K高画質動画を作成した。
また、Youtube や駅ビジョン等で活用するため、30秒・15秒のバージョンも作成した。



(2) 雑誌等掲載

滋賀・びわ湖の魅力・美しさを、各種雑誌に写真と記事で伝えた。

- ・「ひととき」(10月20日発行)
- ・「CREA Traveler」(3月10日発行)
- ・「KELLY」(3月23日発行)
- ・「SAVVY」(3月23日発行) 等

(3) インターネット広告

作成した動画について、Youtube で動画視聴前に表示される動画広告を利用し、視聴の誘導を図った。また、インターネットニュースサイト等で紹介されるよう国内外のネットメディア等にプレスリリースを配信した。

また、滋賀県民への参加意識を醸成するため、Facebook, Twitter 等の SNS で制作過程等を配信するとともに、SNS の広告を利用して、露出に努めた。

(4) パブリシティ活用等

プレスツアーや京阪神・東海エリアを中心に駅ビジョン等を利用した情報発信を行った。

①プレスツアー

- ・滋賀が生んだ日本一の美女とめぐる！「日本屈指の観音さま」と「秋の里山」に癒される旅

期 日：平成 28 年 9 月 29 日（木）～30 日（金）

1 泊 2 日

参加者：プレス 8 社 8 名

雑誌・WEB 18 媒体掲載

- ・滋賀・びわ湖“現在のおんな城主”たち

期 日：平成 29 年 2 月 23 日（木）～24 日（金）

1 泊 2 日

参加者：プレス 8 社 8 名

雑誌・WEB 39 媒体掲載



②駅ビジョン等

- ・豊橋ビジョン（JR 豊橋駅）

期 日：平成 29 年 3 月 1 日（水）～31 日（金）

- ・J-AD ビジョン（JR 名古屋駅）

期 日：平成 29 年 3 月 13 日（月）～19 日（日）

- ・WEST ビジョン（JR 西日本電車内）

期 日：平成 29 年 3 月 6 日（月）～12 日（日）

③テレビ番組

おとな旅あるき旅

平成 28 年 11 月 19 日、平成 29 年 1 月 7 日、平成 29 年 3 月 18 日放映

3 国内旅行誘致事業

平成 30 年度の大型観光キャンペーンや、そのプレキャンペーンとして、平成 29 年の 10 月から開催する「日本遺産 滋賀・びわ湖 水の文化ぐるっと博」に向けて、魅力的な観光素材の開発に引き続き取り組むとともに、滋賀のおもてなし旅「びわ湖灯り絵巻」の拡充、旅行会社への観光素材提供のための商談会や現地研修会を開催した。

（1）魅力的な観光素材の開発

ビワイチサイクルツーリズムや「日本遺産 滋賀・びわ湖」などについて観光素材の開発や情報の発信を行った。

① ビワイチ観光推進事業

ア 多彩な観光素材の創出

(ア) 事業者向けセミナー「サイクリストに対するおもてなしやサポート水準の向上に向けて」

期日：平成 29 年 3 月 15 日（水）13：30～16：30

場所：ピアザ淡海 3 階会議室

講師：南義彦（ホテルボストンプラザ草津びわ湖）

(イ) 現地研修「サイクリスト受入れ先進地の視察」

期日：平成 29 年 3 月 24 日（金）日帰り

場所：奈良市及び周辺

イ 個人・着地型の観光プログラム造成促進

琵琶湖沿岸以外の地域にも誘客するため、県内 7 地域の自転車での観光ルートを 8 コース策定し、滋賀県道路課で作成したビワイチサイクリングマップに活用した。

ウ 多彩な観光素材を活かした観光プログラム造成支援

(ア) 信楽焼「美しく軽い陶ビーズアクセサリーを作る」講座

期 日：平成 28 年 6 月 25 日（土）、7 月 16 日（土）、7 月 30 日（土）

場 所：よみうりカルチャー荻窪センター

参加者：各回 約 10 名



(イ) 日本遺産カルチャー「白洲正子の眼差して語る『琵琶湖の水辺』」講座

期 日：平成 28 年 9 月 30 日（金）、10 月 7 日（金）、10 月 21 日（金）

場 所：よみうりカルチャー横浜センター

講 師：大沼芳幸（滋賀県文化財保護協会）

参加者：各回約 30 名



(ウ) 日本遺産カルチャー「日本遺産 水と祈りの文化」講座

期 日：平成 29 年 2 月 23 日（木）

場 所：朝日カルチャーセンター新宿教室

講 師：木戸雅寿（滋賀県教育委員会文化財保護課）

参加者：約 10 名

(エ) 日本遺産カルチャー「日本遺産 水と暮らしの文化 水と食の文化」講座

期 日：平成 29 年 3 月 10 日（金）

場 所：朝日カルチャーセンター新宿教室

講 師：木戸雅寿（滋賀県教育委員会文化財保護課）

参加者：約 10 名



エ ビワイチサイクリングを中心とした多彩な魅力の情報発信

(ア) サイクルツーリズムに関する情報発信

ビワイチサイクリングのPRのためポスター等を作成した。

ポスター 100部

パンフレット 10,000部

スタンドバナー 2台



(イ) 啓発グッズの作成

ビワイチ野帳 1,000冊 (コクヨ工業滋賀)

びわこスポンジ 5,000個

(ウ) イベント出展

名称：サイクルモードライド大阪 2017

期日：平成 29 年 3 月 4 日 (土)・5 日 (日)

場所：万博記念公園 (大阪府吹田市)

(エ) 雑誌掲載

雑誌名：月刊誌「CYCLE SPORTS」(八重洲出版発行)

掲載号：2017年4月号(2月20日発売)、5月号(3月20日発売)

内容：ビワイチサイクリングルートおよび周辺施設の紹介

(タイアップカラー2ページ×2回)



オ 「ビワイチ」オリジナルグッズ・土産商品の開発促進・PR

「ビワイチ」を紹介・PRするために、「ビワイチ」認定グッズや土産商品を会員から公募し、選定した。

- ・ 選定 2品

カ 学生による「ビワイチ」旅プランコンテストの実施

国内の大学や専門学校等の学生を対象に、自転車で滋賀県を周遊する旅のプランを募集し、優秀な作品を選定・表彰した。

・ 応募数 72件

・ 知事表彰 最優秀 1作品 優秀 2作品

・日時 平成 28 年 12 月 16 日 (金)



キ WEB での情報発信

ビワイチサイクリングを PR するための新たな WEB サイトを作成した。



② 「本物の滋賀」おもてなし旅「第3回『「びわ湖灯り絵巻』虹色イルミネーション」の開催

各市町、観光協会等と連携し、希望や願いをメッセージ記入できる「びわ湖灯り」（1灯 300 円）を会場で灯してもらう参加型イベントを開催し、同時に会場付近で商店街バルやその他、地域イベントを開催した。

開催日：平成 29 年 2 月 11 日～14 日 4 日間

会 場：県内 8 会場（長浜、彦根、近江八幡、草津、甲賀、石山、大津館、高島）

「びわ湖灯り」メッセージの祈願法要（2月18日：石山寺 奉納 540 燈（枚））

【長浜会場】



【彦根会場】



【草津会場】



【甲賀会場】



【石山会場】



【びわ湖大津館】



【高島会場】



【近江八幡会場】

積雪のため中止

(2) 国内観光誘客の強化

① 観光客誘客の商談会・キャラバンの取組

平成30年開催の滋賀県大型観光キャンペーンや「日本遺産 滋賀・びわ湖 水の文化ぐるっと博」について旅行エージェントに対し商品造成の提案を行うとともに、市町・観光協会および会員が参加する商談会を開催した。

ア 「旅行会社商品企画造成担当者意見交換会および現地研修会」(再掲)

期 日 平成28年9月1日(木)～2日(金) 2日間

会 場 北ビワコホテルグラツィエ

第1日目 研修会・商談会・交流会の実施

第2日目 現地研修会(3コース分けて催行)

参加者 旅行会社 (18社) 52名

会員・市町観光協会 (55会員) 71名

(合計参加者) 123名

現地研修会

Aコース:「日本遺産水と祈りと暮らしの文化

竹生島と大溝・針江・菅浦の水辺景観を訪ねて」参加者 15名

Bコース:「日本遺産 水と祈りと暮らしの文化

長命寺・沖島・近江八幡水郷巡りを訪ねて」参加者 21名

Cコース:「日本遺産 水と暮らしの文化

東草野の山村景観・醒井宿・五個荘金堂・伊庭の水辺景観を訪ねて」

参加者 13名



イ 「中京地区旅行会社商品企画造成担当者・意見交換会」

期 日：平成 29 年 1 月 13 日（金）

会 場：ANA クラウンプラザホテルグランコート
名古屋

参加者：旅行会社 9 社 12 名
 会員・市町観光協会（23 会員） 26 名
 合計参加人員 38 名



ウ 「中国四国地区（広島）旅行会社商品企画造成・仕入・販売担当者・商談会」（再掲）

期 日：平成 29 年 2 月 3 日（金）

会 場：ホテル グランヴィア広島

参加者：旅行会社 9 社 9 名
 会員・市町観光協会（15 会員） 17 名
 合計参加者 26 名



※九州地区のキャラバン予定を、広島商談会に変更

エ 「首都圏旅行会社商品企画造成担当者意見交換会」

期日：平成 29 年 3 月 9 日（木）

会場：ロイヤルパークホテル

参加者：旅行会社 12 社 15 名
 会員・市町観光協会（20 会員） 27 名



② 旅行商品化提携事業

各旅行会社において、滋賀県を目的地とした旅行の商品化や、企画段階から積極的に関与した旅行商品の造成を目的として、個人旅行商品や団体旅行商品のパンフレット作成や広報宣伝経費の一部の補助を行った。

ア 旅行パンフレット作成等に対する助成

旅行会社名	商 品 名	対象商品期間	助成額(円)
(株) JTB国内旅行企画 東日本 事業部 商品企画部	エースフリープラン 京都・奈良・びわ湖 ほか	H28. 4. 1 ～H29. 3. 31	900, 000
近畿日本ツーリスト個人旅行 (株) 首都圏第2国内企画セン ター	メイトフリープラン パーソナリップ京都・奈良 びわ湖・天橋立・城崎温泉 ほか	H28. 4. 1 ～H29. 3. 31	300, 000
(株) 日本旅行 赤い風船 東日 本事業部	宿コレクション 京都・奈良・びわ湖・天橋立 へ行こう 女子旅びわ湖	H28. 4. 1 ～H29. 3. 31	300, 000
合 計			1, 500, 000

イ 団体旅行商品等の企画等に対する助成

旅行会社名	商品名	対象商品期間	助成額(円)
クラブツーリズム(株) 地域交流部	旅の友、バスの旅、プレミアムステージほか	各月	1,230,000
(株) 阪急交通社 東日本営業本部 メディア営業1部	トラピックス倶楽部、ほか	各月	600,000
(株) JTBメディアリテリング 国内旅行部	旅物語	各月	170,000
合 計			2,000,000

ウ ウェブ個人型旅行商品等の企画等に対する助成

旅行会社名	商品名	対象商品期間	助成額(円)
(株) JTB国内旅行企画 るるぶトラベル	インターネットを活用した滋賀県への宿泊促進キャンペーン	各月	1,000,080

③ 東海地区観光物産情報発信事業

東海地区のマスコミやエージェントに対して観光情報提供や旅行エージェントの商談会を行い、滋賀への誘致を行った

ア 「マスコミ訪問」(岐阜2社・名古屋4社)

・平成29年1月11日(水)実施



イ 「中京地区旅行会社商品企画造成担当者意見交換会」(再掲)

期日：平成29年1月13日(金)

会場：ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋

参加者：旅行会社 12名 市町・会員 26名



ウ 「虹色の旅へ。滋賀・びわ湖」観光キャンペーン(再掲)

期日：平成29年1月14日(土)

会場：金山総合駅連絡橋 イベント広場

参加者：市町6地域、近江鉄道



④ アプリによる情報発信・誘致の取組（再掲）

県内各地域の連携をテーマにWEBアプリで観光客を誘導するスタンプラリーを実施し、スタンプポイント箇所の観光施設等では、おもてなし体制の支援を行った。

4月「ロケ地めぐり」 9月「お城めぐり」 1月「地酒めぐり」



(3) 観光まちづくりに対する支援

① 地域観光活性化支援事業

市町、地域観光振興協議会が展開する事業で、観光資源の発掘や観光ルート設定や複数の観光地を結ぶ2次アクセスの整備などにより誘客を図る事業を支援した。その中で、大河ドラマ「真田丸」の放映を機にした事業への支援を充実した。

事業主体	事業内容	補助金額(円)
びわ湖大津志賀観光振興協議会	イベント実施事業	1,489,000
	1. 天台三本山「お寺でなぞ解き」	
	2. 特別拝観券チラシ作製	
	3. 女性を引きつける大津の旅事業	
	誘客促進対策事業（キャンペーン）	
湖南地域観光振興協議会	観光キャンペーン事業	790,000
	湖南地域観光魅力創造事業	
南びわ湖観光推進協議会	高速道路を利用した観光誘客促進事業（バナー）	455,000
	広域観光推進に関する調査事業	
東近江観光振興協議会	地域情報誌	889,000
	スタンプラリー及び情報掲載（バナー）	
	広域観光パンフレット発行	
	キャンペーンの参加	
	観光招待事業	
びわこ湖東路観光協議会	湖東路観光周遊ツアー創設事業	1,080,000
	びわ湖湖東路ゴーストツアー創設事業	
	「ぐるっと湖東路」周遊促進事業（パンフ）	
	広告宣伝事業（滋賀たび、バナー）	
	観光キャンペーン参加事業	

びわ湖・近江路観光圏協議会	大河ドラマ「真田丸」情報発信事業（石田三成連携）	820,000
	キャンペーン出展事業（誘客宣伝事業）	730,000
北びわこふるさと観光公社	北びわこ道の駅観光キャンペーン事業（スタンプラリー）	1,420,000
	大河ドラマ「真田丸」情報発信事業 三成バス運行事業	1,100,000
びわ湖大津観光協会	光の庭のRose Fantasy（びわ湖灯り絵巻）	400,000
石山観光協会	びわ湖灯り絵巻「紫式部ゆかりの石山寺 おもてなしライトアップ」	400,000
守山市観光物産協会	ぐるっとびわ湖クルージング（バナー）	225,000
野洲市観光物産協会	紅葉ライトアップ広域PRパンフレット作成事業	164,000
甲賀市未来会議	来て魅て甲賀大作戦（キャンペーン、バナー）	350,000
	甲賀流地域活性化の術 田んぼアートの巻	
信楽町観光協会	甲賀信楽灯りイベント	400,000
湖南市観光物産協会	国宝 湖南三山めぐり（滋賀たび、バナー）	375,000
	こなん花の寺と磨崖仏めぐり	
	ビューロー、JR西日本との共同県外キャンペーン事業	
	湖南市観光ガイドマップ製作事業	
	真田十勇士 猿飛佐助と三雲城を訪ねるハイキング（バナー）	80,000
湖南市観光物産協会	「食べて」・「見て」・「触れて」楽しいこにゃん街道（バナー）	448,000
近江八幡市観光物産協会	安土・八幡を結ぶ魅力再発見事業の実施及びPR周知（大型キャンペーン） ①近江八幡の灯り ②水と祈りを繋ぐルート ③女子旅による近江八幡の旅	944,000
東近江市観光協会	大本山永源寺遠忌特別参拝と木地師のふるさとを訪ねる	175,000
	琵琶湖ひな街道（広域 大型キャンペーン）	560,000
近江商人ゆかりの町	近江商人ゆかりの町 広域連携事業	480,000
湖東三山観光振興連絡会	紅葉湖東三山シャトルバス	453,000
彦根観光協会	びわ湖灯り絵巻「彦根灯花会」	400,000
長浜観光協会	びわ湖灯り絵巻長浜会場	400,000
高島市	高島くつきトレイルランニング魅力発信事業	350,000
びわ湖高島観光協会	キャンペーン事業	223,000
	二次交通アクセス整備事業（マップ作成）	
	今津ヴォーリズ通り灯り絵巻事業	
びわ湖一周ロングライド	ビワイチびわ湖一周ロングライド 2015	400,000
合計		16,000,000

② 日本観光振興協会共同事業

(公社) 日本観光振興協会に対して負担金を拠出することにより、全国の都道府県とともに全国広域観光振興事業に参加した。

ア 「ツーリズム EXPO ジャパン 2016」(再掲)

平成 28 年 9 月 22 日(木)～25 日(日)
 会場：東京ビッグサイト
 参加：140 か国・地域から 1,181 企業・団体
 来場者数 185,844 名



イ 「ほんまにええとこ関西観光展 in 岡山」

平成 28 年 11 月 5 日(土)～6 日(日)
 会場：イオンモール岡山
 参加：滋賀県、京都府、奈良県、大阪府、
 兵庫県、和歌山県、三重県
 (滋賀県から近江鉄道)



ウ 「ほんまにええとこ関西観光展 in 横浜」

平成 29 年 2 月 3 日(金)～5 日(日)
 会場：横浜新都市プラザ
 参加：滋賀県、京都府、奈良県、大阪府、兵庫県、
 和歌山県、三重県
 (滋賀県から長浜市)



③観光キャンペーン推進事業

平成 30 年度に予定されている大型観光キャンペーンに向けて、準備会を 4 回開催し、県と市町の役割分担を明確にするとともに、県内各市町、観光関連団体、観光事業者や交通事業者と一体となった総合的な観光振興施策を展開した。

ア 受入体制整備事業

(ア)観光キャンペーン推進業務

県内 9 市町を対象としたワークショップの実施により観光素材の磨き上げを行うとともに、大型観光キャンペーン開催に向けての事業計画書および実施計画中間報告書を作成した。

(イ)大型観光キャンペーン推進事業費補助金

市町における着地型旅行の商品開発と自立化に向けて、大型観光キャンペーンに繋げる着地型観光プログラムの開発や試行実施、広報等の取組に補助を行った。

対象：4 市町

内容：新たな着地型旅行商品の開発および実施や広報など

交付先	事業内容	補助金額(円)
公益社団法人びわ湖大津観光協会	日本天台三総本山観光キャンペーン事業 女子限定！カメラ入門ひな人形を写そう in 西教寺	587,000

一般社団法人近江八幡観光物産協会	近江八幡おもてなしパスポート	350,000
竜王町	ぐるっと・竜 (=虹) 王八景スタンプラリー	283,000
一般社団法人多賀町観光協会	広域版 開運! 近江の地獄めぐり (多賀町広域版観光周遊マップ)	450,000
合 計		1,670,000

イ おもてなし環境整備事業

大型観光キャンペーンに向けたおもてなし環境の充実を図るため、観光地のトイレ洋式化整備について、県内4市町を対象に補助を行った。

交付先	事業内容	補助金額(円)
大津市	近江神宮 公衆トイレ (5基)	1,387,000
長浜市	黒壁スクエア内公衆トイレ (7基) (中央駐車場、お旅所駐車場、北国街道街角公衆トイレ) 近江孤蓬庵公衆トイレ (2基)	2,206,000
近江八幡市	安土駅南側公衆トイレ (4基)	1,127,000
湖南市	十二坊温泉ゆらら 屋外公衆トイレ (2基)	99,000
合 計	トイレ洋式化 計 20 基	4,819,000

ウ 日本遺産 PR 案内看板設置事業

日本遺産「琵琶湖とその水辺景観－祈りと暮らしの水遺産」を来訪者に周知し、構成文化財への誘導や地域周遊観光に繋げることを目的に、日本遺産の魅力や周辺観光地を伝える案内板を設置した。

- ・設置場所 7市町の駅前 道の駅等
- ・設置数 27基



エ 公共交通機関における情報発信事業

首都圏および関西圏のJR主要駅におけるデジタルサイネージ等により、「日本遺産 滋賀・びわ湖 水の文化ぐるっと博」の告知を行った。また、「日本遺産 滋賀・びわ湖 水の文化ぐるっと博」PR チラシ10万部を作成し、関係各機関への配付を行った。

④ 観光まちづくり推進事業

地域において、市町、観光関連団体、観光事業者、住民など多様な主体が参加・連携し、観光をキーにしたまちづくりを行う仕組みづくりを、専門知識を有するアドバイザーの派遣、ワークショップの開催などにより支援した。

ア モデル地区の選定、ワークショップの開催

選定市町：甲賀市・湖南市・多賀町

ワークショップの開催：各市町において各5回開催

- ・第1回：現状把握、観光素材の洗い出し
- ・第2回：観光におけるSWOT分析
- ・第3回：地域の有効な素材を活用した着地プログラム作り
- ・第4回：ターゲット設定、PR手法
- ・第5回：まとめ（経済効果、次年度以降への継承）

イ 先進地調査

まちづくりの先進地について、モデルとなる地域を訪問し、関係者とともに視察研修を行った。

(ア) 視察先

- ・南信州観光公社（長野県飯田市） 代表 高橋 充氏の講演
2月1日実施 参加者 28名（市町 23名、ビューロー 5名）
- ・海島遊民くらぶ（三重県鳥羽市） 代表 江崎 貴久氏の後援
3月6日実施 参加者 32名（市町 31名、ビューロー 1名）

(イ) 視察内容

- ・既存の地域資源を活用した着地プログラムの開発・商品化
- ・明確な戦略、コンセプト
- ・ミッションを明確にした専門会社の立ち上げ
- ・自主財源による運営

ウ 県域研修会の開催

市町、観光団体、観光事業者等の観光まちづくりのキーマンを対象に、観光まちづくりの取組の進め方、成功事例等を紹介する県域での研修会を開催した。

(ア) 第1回

- ・開催日時 平成28年6月3日 16時00分～17時30分
- ・講演者 デービッド・アトキンソン氏（小西美術工藝社代表取締役社長）
- ・講演テーマ「観光立県・滋賀の可能性」
- ・開催場所 びわ湖大津プリンスホテル 3階プリンスホール
- ・参加人数 233名

(イ) 第2回

- ・開催日時 平成28年11月15日 15時00分～17時00分
- ・講演者 袁文英氏（EGL tours 主席（社長））
- ・講演テーマ 「香港のお客様の心をつかむおもてなし」
- ・開催場所 長浜ロイヤルホテル 2階ロイヤルホール
- ・参加人数 117名

エ マーケット調査（WEB調査）

滋賀県への旅行経験者の実態・意識・属性の把握をし、モデル市町3市町への来訪してもらえるようになるのかについて調査した。

- (ア) 調査方法 インターネット調査
- (イ) 調査対象者 1年以内滋賀県旅行経験者と3市町旅行経験者
- (ウ) サンプル数 750 サンプル

オ 成果報告会の開催

- (ア) 開催日時 平成29年3月14日 13時30分～15時30分
- (イ) 開催場所 コラボしが21 6階労働セミナー室
- (ウ) 参加者 モデル地区3市町（甲賀市・湖南市・多賀町）
びわこビジターズビューロー専務理事・事務局長・職員、県観光交流局、大津商工会議所、信楽町観光協会 他
- (エ) 内容
 - ・3市町事例発表
 - ・先進地調査報告
 - ・コーディネーター総括、WEB調査の結果報告

4 国際観光推進事業

多くの外国人観光客が来県している好機を捉え、情報発信の強化や、体験観光など外国人に魅力ある新たな周遊ルートの開発、受入体制の整備を進めるとともに、これまで重点的に取り組んできた東アジアや市場の成長が見込まれる東南アジアのほか、欧米についてもイギリスの旅行博 WTM に広域連携で出展するなど、滋賀の PR に努めた。

(1) ターゲットを意識した情報発信・誘客の強化

① ICT を活用した観光情報ウェブサイトの多言語化

平成28年度から運用開始している訪日観光客向けの観光情報ウェブサイトについて翻訳ツール（ICT）の活用により、さらなる多言語化を図った。

- ・当初対応言語：英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語
- ・追加対応言語：タイ語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、ベトナム語、インドネシア語

② 海外向け情報提供事業

マップやリーフレットの改訂や増刷、新たな言語による新規作成を行った。

- ・英語マップ改訂増刷 3,000部
- ・海外リーフレット増刷（英語 6,000部、繁体字・タイ語 各3,000部）
- ・海外リーフレット新規制作（スペイン語・ポルトガル語 各3,000部）

③ 訪日観光客向けパンフレットの更新・増刷

個人旅行者向けパンフレットの good Luck 誌の改訂や増刷を行い、海外プロモーション活動での活用や海外旅行会社への配布、関西空港・中部空港、県内観光案内所、宿泊施設等へ配布した。

- ・改訂、増刷：英語・繁体字・韓国語 75,000部
- ・改訂、増刷：簡体字・タイ語・ベトナム語 30,000部

④ 北陸圏との官民広域連携による海外誘客事業（グランドサークルプロジェクト）

「北陸新幹線を活用した官民広域連携事業」により、新たなゴールデンルートの確立をめざす沿線県と連携し、ルートの魅力向上と情報発信力の強化を図った。

ア 沿線マップの更新・作成

英・仏・独・中（簡・繁）・タイ・インドネシア

イ WEB コンテンツ制作

沿線地域の魅力を発信する WEB サイトを作成し、各県・JR のホームページ等を活用して発信した。

⑤ 海外旅行博出展事業

ア 重点市場（東アジア・東南アジア）へのプロモーション事業

関西地域振興財団（関西国際観光推進本部）や中部広域観光推進協議会等と連携して、これまでの実績・ネットワークの強い国や、商談会、旅行商品即売による商品造成、誘客に効果があると考えられる旅行博について出展した。

・台湾：台湾大商談会（高雄・台中・台北） 平成 28 年 9 月 6～10 日 関西地域振興財団

・ベトナム：「おもてなしジャパン・プロジェクト 2016」番組連動イベント（ホーチミン）

平成 29 年 2 月 14 日

・タイ：タイ旅行博（TITF）トッププロモーションフォロー
平成 29 年 2 月 15 日～19 日 県単独・昇龍道プロジェクト



台湾・大商談会



TITF タイ国際旅行博

イ 新規開拓市場へのプロモーション事業

北陸広域連携（グランドサークルプロジェクト）により、本県の特徴ある自然、歴史、文化などの観光資源への関心が高いと期待される欧州地域に対する取組として、イギリスにおける旅行博覧会に出展した。

・WTM(World Travel Market London) 平成 28 年 11 月 7 日～9 日

⑥ 海外市場情報発信強化事業（ベトナム・タイ トッププロモーション）

平成 27 年度に実施したタイ・マレーシアトッププロモーションの成果を生かし、食と連携した観光誘客の促進を図るため、「観光と食」のトッププロモーション事業を継続実施した。

・訪問地域 ベトナム（ホーチミン）・タイ（バンコク）

・実施期間 平成 28 年 11 月 8 日～12 日

・参加者 三日月知事（団長）、食事業者 9 社 14 名、観光事業者 4 社 4 名、

銀行2社2名、県・ビューロー9名

- ・実施内容 旅行エージェント、百貨店等へのトップセールス、商談会、観光・食のプレゼンテーション



⑦海外向け発信事業

ア 民間の発信力等を活用した情報発信の強化

ビューロー単独の他、関西地域振興財団（関西国際観光推進本部）や中部広域観光推進協議会等と連携して、海外メディア招請や旅行会社、LOPの招請を行うとともに、会員との商談会を開催した。

- 4月15～16日 シンガポール旅行社
ファミトリップ 2名
視察地：雄山荘（泊）、びわ湖バレイ
- 4月15～16日 台湾旅行誌取材 2名
- 4月17～21日 中華大学ビワイチ一行 44名
- 4月23～25日 日台湾旅行誌取材
- 5月20～21日 関空促進協 シンガポールインフルエンサー 3名
- 7月4～5日 関西地域振興財団 ベトナム旅行社
ファミトリップ 4名
- 8月22～23日 関西地域振興財団、三重県、和歌山県連携
おもてなしジャパン・プロジェクト(ベトナム版)Nhật Bản sống động
(ドラマ仕立てのリアルドキュメンタリー制作に伴うロケハン)
- 8月24～25日 近畿運輸局、関西エアポート等連携 関西空港利用促進事業
ベトナムメディアファミトリップ 2社2名
- 9月8～9日 関西地域振興財団 韓国旅行社ファミトリップ 3社3名
- 9月22日 関西地域振興財団 韓国ブロガーファミトリップ 1名
- 9月28日 ビジットジャパン 関空利用促進事業 マレーシア旅行社商談会 5名
- 10月11～13日 「ANA 香港・関西外国語大学との連携で香港からの訪日客誘致事業」
ANA 香港・ANA セールス担当者が県内視察
- 10月27～29日 関西地域振興財団、三重県、和歌山県連携
おもてなしジャパン・プロジェクト(ベトナム版)Nhật Bản sống động
(ドラマ仕立てのリアルドキュメンタリー制作に伴う県内取材)
2016年12月～2017年1月ベトナム全土で放映(30分×10回)





- 11月13日 忍者協議会 インドネシア旅行社ファミトリップ 2社2名
- 11月15～16日 中部運輸局 昇龍道大使 袁文英氏ファミトリップ・講演会
- 11月23～24日 グランドサークルプロジェクト メディアファミトリップ 8社8名
- 11月30日 中部広域観光推進協議会 ベトナム旅行社ファミトリップ 4社5名
- 12月1日 中部広域観光推進協議会 ベトナム旅行社・メディア商談会 9社11名
- 1月10日 関西広域連合 台湾旅行社・メディアレンタカー利用ファミトリップ
- 1月24日 関西地域振興財団 美の伝説ファミトリップ 中国旅行社1名
- 1月29日 関西地域振興財団 美の伝説ファミトリップ 仏旅行社1名
- 2月16日 近畿運輸局 香港メディア招請事業 2名(雑誌「飲食男女」)
- 2月23日 日本政府観光局招請 タイ・バンコク ブロガー来県 2名
- 2月28日 「ANA 香港・関西外国語大学との連携で香港からの訪日客誘致事業」
関西外国語大学による事業報告会
※2/3 から「ANA スカイホリデー滋賀県」ツアーが発売



- 3月13日 関西地域振興財団 日本のお酒と文化理解促進事業 韓国旅行社 20名

イ 海外有力旅行会社の招請

トッププロモーションの効果を高めるため、実施後に対象国の旅行社を招請し、視察、体験等でさらに誘客を図った。

- 1月21～24日 ベトナム旅行社ファミトリップ 5社5名



⑧訪日教育旅行の誘致

団体での誘客が図れるとともに、将来リピータとしての効果が期待され、また学校交

流を通じて県内の生徒が異文化交流・国際理解を深める機会ともなる訪日教育旅行の誘致について、愛知県、名古屋市との連携による台湾教育旅行誘致協議会において取組を進めた。

ア 現地プロモーションの実施（現地説明会への参加、学校セールス）、現地旅行社の招請

- 6月13～18日 訪日教育旅行誘致協議会 訪日台湾教育旅行現地説明会・セールスコール(台北、台中、高雄)
- 10月4日 JNTO 台湾・教育旅行関係者との交流座談会(東京)
- 1月30日～12月2日 台湾・教育旅行取扱旅行社 県内視察2名
- 1月16～21日 訪日教育旅行誘致協議会 訪日台湾教育旅行現地プロモーション(台北、台中、嘉義、台南)

イ 学校交流を受け入れる県内学校への支援

- 4月19日 台湾・板橋高級中学 76名と国際情報高校との学校交流
- 4月25日 台湾・台東高級中学 42名と八幡商業高校との学校交流
- 5月24日 台湾・南港高級中学 39名と国際情報高校との学校交流
- 5月31日 台湾・嘉華高級中学 40名と国際情報高校との学校交流
- 6月10日 台湾・新竹高級職業学校 35名と八幡商業高校との学校交流
- 7月5日 中国・湖南省 長沙明照学院・夏院長来訪への対応
- 7月13日 台湾・台北市立松山高級家事職業学校来県 22名
- 10月17日 台湾・桃園市立大有国民中学 38名と
大津市立打出中学との学校交流
- 12月12日 台湾・国立内壠高級中学 37名と
玉川高校との学校交流
- 2月21日 台湾・私立内思高級工業職業学校 35名と
滋賀短大附属高校との学校交流



滋賀県立玉川高校

(2) 魅力ある周遊ルートの開発

①京滋連携によるVJ事業での誘客活動

京都府と連携したビジットジャパン事業により、首都圏の旅行会社やランドオペレーターと京滋地域の観光事業者との商談会を開催した。そのうち8社を京滋地域に招請し、グループツアー、FIT 向け商品造成に活用を働きかけた。また、首都圏でのランドオペレーターセールスコールでグループ向けモデルコースを提案し、滋賀への誘致を図った。

- 10月5日 京滋国際観光誘客推進委員会 首都圏ランドオペレーター セミナー・商談会 18社
- 1月24～26日 京滋国際観光誘客推進委員会 首都圏ランドオペレーター招請事業 8名



サムライ剣舞シアター



長浜・盆梅展

1月26～27日 首都圏ランドオペレーターセールス

3月13～15日 首都圏ランドオペレーターセールス

②研修会の開催およびモデルコースの作成等

ア 県内研修会の実施

会員自身による海外や国内でのプロモーション活動に役立てるため、県内の観光施設における研修会を実施した。

日時：7月22日

場所：長浜太閤温泉 浜湖月

講師：悠ツアー代表 森 聖太氏

演題：「FIT 通訳ガイドから見た滋賀の可能性と課題」

参加：会員29名



イ 団体・FIT 向けモデルコースの作成

県内観光地への周遊の増加を図るため、国内外旅行会社や県内に宿泊する外国人観光客向けに魅力あるモデルコースを開発した。

9月16日 モデルコース作りのためのワーキング開催

場所：コラボしが21

参加：会員24社29名

ウ 海外旅行博参加会員への助成

海外旅行博へ参加する会員に助成した。

助成：8社9名 18万円

(3) 受入体制の整備等

①ポケットブルツール等の作成

今後特に増加が期待される FIT 層に向けて、本県の認知度を高め、京阪神、中京大都市圏からの交通利便性や魅力的な観光地を PR するため、手軽に手にでき、移動中も見やすい、折りたたみ式の観光マップを作成、配布した。

- ・作成言語 英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語、タイ語
- ・作成部数 英・繁 各 11,000 部、簡・韓・泰 各 5,000 部（A2版・折りたたみ）
- ・配布先 会員施設、関西国際空港、中部国際空港、海外旅行会社、海外旅行博、県内観光案内所等



②宿泊施設多言語コールセンター

京都府、京都市、奈良市、大津市と連携し、平成 27 年度に開設した宿泊施設向け多言語コールセンターの運用を継続した。

今年度利用実績

- ・電話通訳サービス : 115 件(平成 29 年 3 月末現在)
- ・メール翻訳サービス : 59 件(平成 29 年 3 月末現在)

③Wi-Fi を活用した情報発信

「滋賀県無料 Wi-Fi 整備促進協議会」と連携し、Wi-Fi を活用した訪日外国人向け情報発信を進めた。

- ・Biwako Free Wi-Fi 設置状況 : 690 件(3 月末現在)

5 教育旅行誘致事業

団体客として早期に誘客が確定し、さらに将来のリピーターとして期待される教育旅行について、教育旅行担当者現地研修会の拡充、首都圏のほか他地域への誘致キャラバンの実施、学校長等による研究協議会における誘致 PR、校外学習誘致を目的とした教職員対象の教育旅行セミナーの開催などにより、積極的な誘致活動を行った。

(1) 誘致促進事業

①誘致キャラバン事業

全員参加による「教育旅行誘致キャラバン」を年 2 回実施した。第 1 回は首都圏と静岡・新潟、第 2 回は九州各県と広島・岡山の旅行会社をそれぞれ訪問し、県内の PR などの誘致促進を図るとともに、発地における修学旅行の現状など情報収集を行った。

ア「平成28年度首都圏等教育旅行誘致キャラバン結団式」の実施

日時 平成28年 6 月 27 日 (月) 11 時 15 分～
場所 コラボしが 21 6 階 労働福祉セミナー室
参加者 三日月知事、会員 13 名、県 3 名等



イ「平成28年度首都圏等教育旅行誘致キャラバン」の実施

日時 平成28年 7 月 6 日 (水) ～ 7 日 (木)
訪問先 東京、埼玉、千葉、神奈川、静岡、新潟の大手旅行会社および地元旅行会社
参加者 会員 15 名、ビューロー 2 名 計 17 名

ウ「平成28年度第2回教育旅行誘致キャラバン結団式」の 実施

日時 平成29年2月8日(水) 13時30分～
場所 大津市勤労福祉センター
4階研修室
参加者 会員10名、ビューロー4名 計14名



エ「平成28年度第2回教育旅行誘致キャラバン」の実施

日時 平成29年2月15日(水)～16日(木)
訪問先 福岡、佐賀、長崎、鹿児島、熊本、宮崎、大分、
広島、岡山の大手旅行会社および地元旅行会社
参加者 会員10名、ビューロー2名 計12名



②旅行会社現地研修会事業

大手旅行エージェントの教育旅行担当者を対象とした現地研修会を、前年度までの1社から3社に拡大し実施した。研修会では宿泊施設などの見学や体験学習を体験することで、修学旅行地としての適性をアピールするとともに、施設説明会及び情報交換会をそれぞれ実施した。

ア (株)日本旅行東日本営業本部教育旅行担当者現地研修

日程 平成28年8月2日(火)～3日(水)
参加者 日本旅行 18名、会員 12名
行程 1日目
京都駅⇒比叡山坂本駅⇒坂本門前町(日吉大社)
⇒琵琶湖グランドホテル(交流会・宿泊)
2日目
おごと温泉港⇒ランシング乗船⇒ピエリ港
⇒びわこスカイアドベンチャー
⇒食のまちづくりプロジェクト(おうみんち)
⇒琵琶湖博物館⇒近江日野自然体験⇒京都駅



イ 近畿日本ツーリスト(株)奈良滋賀地区教育旅行担当 社員研修

日程 平成28年8月23日(火)～24日(水)
※22日より奈良県から実施
参加者 近畿日本ツーリスト 16名
会員 12名
行程 1日目
京都駅⇒和邇駅⇒BSC ウォータースポーツセンター
⇒びわこ緑水亭(延暦寺法話、施設説明会、交流会)
2日目
おごと温泉港⇒megumi 乗船⇒草津烏丸半島港⇒琵琶湖博物館
⇒草津烏丸半島港⇒megumi 乗船⇒におの浜港



⇒アヤハレークサイドホテル⇒びわ湖大津プリンスホテル（昼食）
⇒びわこの千松⇒JR 石山駅

ウ (株) JTB西日本教育旅行担当滋賀・びわこエリア視察研修

日 程 平成29年1月6日（金）～7日（土）

参加者 JTB 15名

会員 16名

行 程 1日目

大津駅⇒彦根城⇒ひこねスカイアドベンチャー

⇒びわ湖鮎家の郷

⇒琵琶湖グランドホテル⇒びわこ緑水亭（施設説明会、交流会）

2日目

びわこ緑水亭⇒BSC ウォータースポーツセンター⇒びわ湖バレイ

⇒琵琶湖ホテル⇒びわ湖大津プリンスホテル⇒大津駅



③誘致キャンペーン事業

ア 学校教員対象誘致説明会の開催等

全国修学旅行研究協会の協力を得て、関東地区公立中学校修学旅行委員会加盟の埼玉県および千葉県の各研究協議会において誘致説明会を実施した。また、近隣府県からの校外学習誘致を目的に、学校教職員対象セミナーの実施や、小中学校への誘致DMを送付した。

(7) 埼玉県「平成28年度第1回修学旅行対策部研究協議会」でのPR

日 時 平成28年6月24日（金） 15時00分～

場 所 埼玉県 ホテルブリランテ武蔵野

参加者 埼玉県内中学校長15名、全修協4名



(4) 学校教職員対象「滋賀・びわ湖で学ぶ教育旅行セミナー」

日 時 平成28年7月14日（木） 17時30分～

場 所 神戸三宮

参加者 学校教職員1名、会員4名

内 容 第1部 体験学習のご案内、モデルコース紹介

第2部 ヨシ紙笛づくり体験



(5) 千葉県「千葉県中学校修学旅行委員会研究協議会」でのPR

日 時 平成28年11月25日（火） 14時00分～

場 所 千葉県教育会館

参加者 千葉県内中学校長19名、全修協4名

内 容 京都市内からの交通アクセスや体験学習情報を中心に誘致PRを行った。

特に、これまでの行先である長野県からの変更を目指して、スポーツ体験や文化体験、ものづくり体験などをPRした。



(エ) 近隣府県小中学校あて教育旅行誘致 DM 送付

送付先 守口市、枚方市、寝屋川市、大東市、門真市、四条畷市、交野市、豊中市、池田市、箕面市、能勢町、豊能町、吹田市、高槻市、茨木市、摂津市、島本町、東大阪市、八尾市、柏原市、岐阜市の各中学校 計220校
 姫路市の各小学校 計69校
 合計 289校

イ モデルコースの企画・策定

教育旅行の誘致を促進するため、修学旅行および校外学習に適した体験学習、観光モデルコースの企画・策定を行った。

内容 修学旅行：滋賀県内2泊3日コース、京都発着1泊2日コース 各2コース
 京都発着県内日帰りコース 1コース
 校外学習：関西圏発1泊2日コース、中部圏発1泊2日コース 各2コース
 合計5コース

成果物 電子データ、パンフレット（A3判二つ折り）



④日本修学旅行協会および全国修学旅行研究協会の事業参加

前年度に引き続き両協会に参加し、情報提供および協力支援を得て、誘致活動を実施した。

ア「第33回全国修学旅行研究大会」ブース出展



日 時 平成28年 7月28日 (木) 13時00分～
参加者 学校関係者他 約180名
場 所 ホテルグランドヒル市ヶ谷



イ「第 52 回関東地区公立中学校修学旅行研究発表会」ブース出展

日 時 平成28年11月18日 (金) 13時00分
参加者 関東地区公立中学校修学旅行委員会委員約200名、
全修協職員
場 所 ホテルポートプラザちば



(2) 受入れ体制の整備等

ビューローのウェブサイト内「教育旅行」ページを随時最新情報に更新するとともに、教育旅行コンテンツの増設を行った。

公開日 平成 29 年 3 月 9 日(木)

内 容 「体験学習」ページの全面リニューアル、「お食事・お土産」ページの新設

(3) その他

①近畿日本ツーリスト関西地区教育旅行担当者との意見交換会

近隣府県を発地とした校外学習の誘致促進として、関西地区教育旅行担当者との意見交換会を実施した。

日 時 平成28年 7月14日 (火)

場 所 神戸三宮

参加者 近畿日本ツーリスト16名、会員12名

②教育旅行受入れ実績調査

滋賀県への宿泊を伴う教育旅行（修学旅行・郊外学習等）受入れ実績調査を大手旅行社仕入れ支店の協力を得て実施した。（調査実施：平成29年 2月）

平成28年度 延べ人数 56,522人（対前年 92.5%）

学校数 338校（対前年 30校減）

6 コンベンション誘致事業

今後大きな伸びが見込まれ、滋賀の優れたアクセスと環境を生かせるコンベンションをはじめとする MICE について、情報収集・誘致活動として、地方都市コンベンション協議会と連携し、学会事務局や協会事務局、旅行エージェントやイベント企画会社を対象とした合同セミナー・合同セールスを実施した。また、新たなコンベンションガイドブックを作成したほか、県内で開催されたコンベンションに対して助成金を交付するとともに、滋賀県観光ガイドやマップの提供などを行い、県内での開催を支援した。

(1) 情報収集・誘致活動

①合同セミナー・合同セールスの実施

「地方都市コンベンション協議会」に参画し、合同セミナー・セールスを実施し首都圏の学会事務局や協会事務局、旅行エージェントやイベント企画会社に対し、積極的な誘致活動を行うとともに、管理するデータベースのコンベンション開催情報等を随時更新し、会員への情報提供を行った。

ア 「地球惑星科学連合同大会」合同ブース出展

日 時 平成 28 年 5 月 24 日（火）～25 日（水）
場 所 幕張メッセ国際会議場（資料配付）
アパホテル&リゾート東京ベイ幕張（地酒コーナー）



イ 「地方都市コンベンション関連団体合同ワークショップ」参加

日 時 平成 28 年 7 月 20 日（水）
場 所 東京・ホテルグランドアーク半蔵門
参加者 学会等事務局 40 団体、担当者 63 名、各地区担当者 21 名
参加団体 新潟、松本、びわこ、高松、長崎、和歌山、熊本



ウ 「第2回地方都市コンベンション関連団体合同ワークショップ」参加

日 時 平成 28 年 11 月 17 日（木）
場 所 東京湾クルーズ シンフォニーモデルナ
参加者 学会等事務局 30 団体、担当者 52 名、各地区担当者 21 名
参加団体 新潟、松本、びわこ、岐阜、高松、長崎



エ 「第 16 回日本分類学会連合公開シンポジウム」への協賛と合同ブース出展

日 時 平成 29 年 1 月 7 日（土）
場 所 東京・国立科学博物館本館
参加者 日本分類学会連合加盟 25 団体、各地区担当者 10 名

参加団体 新潟、つくば、松本、岐阜、びわこ、和歌山、高松



オ 「第3回地方都市コンベンション関連団体合同ワークショップ」参加

日時 平成29年3月2日（木）

場所 東京湾クルーズ シンフォニーモデルナ

参加者 学会等事務局PCO・AGT15団体、担当者28名、各地区担当者17名

参加団体 新潟、松本、びわこ、高松、和歌山



カ 第1回合同セールス

日時 平成28年5月31日（火）～6月1日（水）

場所 東京都内 各学会、協会事務局

参加団体 びわこ、長崎、高松、松本、新潟

訪問先 計67件

キ 第2回合同セールス

日時 平成28年10月3日（月）～4日（火）

場所 東京都内 各学会、協会事務局

参加団体 びわこ、長崎、高松、松本、新潟

訪問先 計63件

② 個別誘致セールス

合同セミナー・合同セールスで得た情報を踏まえ、誘致可能性のある会議や大会の主催者に対して個別に誘致セールスを行った。

日時 平成29年3月14日（火）～15日（水）

場所 東京都内 各学会、協会事務局

訪問先 計12件

③ コンベンションガイドブックの策定

コンベンション等に利用可能な施設をはじめ、滋賀ならではのユニークベニューやエクスカージョン、土産品、支援策などを一体的にアピールできる新たなコンベンションガイ

ドブックを作成した。また、作成したコンベンションガイドのデータをコンベンションの主催者等が自由にダウンロードできるようビューローのWEBサイトに掲載した。



④ JNTO（日本政府観光局）・JCCB（日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー）の活用

JCCBの賛助会員として、平成28年度日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー（JCCB）総会に参加し、情報収集や情報発信を行った。

日時 平成28年5月30日（月）
場所 京王プラザホテル（東京）

⑤ 近畿コンベンション連絡会への参加

日時 平成29年3月3日（金）
場所 神宮会館（三重県伊勢市）
参加団体 大阪、京都、神戸、堺、奈良、姫路、びわこ、和歌山、伊勢志摩
内容 近畿コンベンション連絡会の会員の各担当者が、各ビューローのコンベンション誘致の状況等について、情報交換を行った。

（2）受入態勢の整備等

①コンベンション開催支援事業

県内で開催されたコンベンション等の主催者に対し、コンベンション開催助成金での支援や資料等の提供を行った。

- ・ 総支援数
84件 22,871名（滋賀県観光交流局による支援件数を含む）
- ・ 滋賀県コンベンション開催助成金
件数 5件（国内会議） 金額 計2,000千円
- ・ 観光ガイド、観光マップ等の無償提供
件数 82件
- ・ キャリーバッグの作成・提供
作成部数 3,000部
提供部数 400部（単価155円）

7 物産振興事業

本県の優れた物産の販路拡大と物産を通じた本県の魅力を発信するため、観光 PR とも併せて県内外で物産展を開催したほか、これまでの消費者向け(B to C)事業に加え、バイヤー等を対象とした(B to B)事業であるスーパーマーケットトレードショーへ初出展するなど、新たな取組を行った。

(1) 郷土物産展開催事業および物産宣伝紹介事業

高島屋日本橋店での「大近江展」や、特産品の地産地消を促進する西武大津店での「滋賀のええもんうまいもん祭り」、新規催事である近鉄草津店での「近江湖国のうまいものフェア」など、今年新たに取組んだ12催事を含め、全体では23催事に参加した。特に第29回琵琶湖夢街道「大近江展」では、東京での観光 PR イベントと連動させた取組みや、滋賀への旅のご招待が当たる「お楽しみ抽選会」を実施するとともに、県内市町の協力を得て、県内の観光関連の展示や観光イベントの開催を行うなど、物産を通じた県内観光の魅力発信を強化した。

併せてあわせて県内での物産展においても、観光と連動した取組みの強化とメディアでの紹介等を強化した。

< 本部実施 >

名 称	開 催 場 所	開催期間	参加数	販売実績(円)
近江うまいもんええもん市	平和堂アルプラザ水口店	H28. 4. 14～4. 18	14	3, 040, 819
パルコススイーツ対決	大津パルコ	H28. 4. 29～5. 1	3	305, 151
近鉄草津店食品売場催事(7回)	近鉄草津店 1 階	H28 年度 7 回実施	9	3, 265, 517
第 1 回近江湖国のうまいものフェア	近鉄草津店 4 階	H28. 5. 25～5. 31	22	9, 535, 141
第 33 回江州音頭フェスティバル	京都市勧業館	H28. 8. 4	6	631, 600
鴨川納涼 2 0 1 6	京都鴨川西岸河川敷	H28. 8. 6～8. 7	1	307, 000
櫛野寺展	東京国立博物館	H28. 9. 13～12. 11	9	5, 684, 161
BIWAKO 湖フェス	びわこ競艇場	H28. 9. 24～9. 25	2	176, 660
第 1 2 回滋賀のええもんうまいもん祭り	西武大津店	H28. 10. 5～11	44	18, 405, 125
近江うまいもんええもん市	ビバシティ彦根	H28. 10. 14～17	16	2, 601, 362
おいでーな滋賀 in 名古屋	金山総合駅連絡口	H29. 1. 14	4	130, 410
第 29 回大近江展	高島屋日本橋店	H29. 3. 8～3. 13	41	71, 024, 000
名古屋旅まつり	名古屋久屋大通公園	H29. 3. 18～3. 19	2	281, 000
第 29 回大近江展オンライン販売	高島屋日本橋店	H29. 3. 1～3. 31	16	118, 000
本部 合計	20 事業		144	115, 505, 946

<滋賀県東京観光物産情報センター実施>

名 称	開 催 場 所	開催期間	参加数	販売実績(円)
ふるさと観光大使タボくん館長	ゆめぷらざ滋賀	H28. 7. 2～7. 3	2	162, 730
近江味紀行	高島屋日本橋店	H28. 11. 9～11. 15	10	11, 586, 850
近江ゆかりの会	品川プリンスホテル	H29. 2. 2	1	38, 960
東京 合計	3 事業		13	11, 788, 540

事業合計（本部、東京）（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）

参加企業数：述べ 202 社 総売上額：127, 294, 486 円（計画比：101. 7% 前年比：100. 6%）



第一回近江湖国のうまいものフェア(近鉄草津店)



近江うまいもんええもん市(平和堂水口店)

(2) 首都圏観光物産情報発信事業

① バイヤーを意識した物産展示会への出展

第 51 回スーパーマーケットトレードショー
に初出展した。

開催日時：平成 29 年 2 月 15 日～17 日

開催会場：千葉幕張メッセ

出展社数：6 会員

入場者数：86, 768 名



スーパーマーケットトレードショー(幕張メッセ)

② 滋賀の物産を紹介する WEB コンテンツの充実

物産振興部 WEB コンテンツ「滋賀のええもん」
のリニューアルについて、現状の活用方法等のア
ンケート調査を行い、会員訪問時に説明等を行った。
また、アクセス数増加の為に、「滋賀のええもん」
の QR コードが印字されたクリアファイルを大近
江展抽選会景品として使用し、首都圏での情報発
信に繋がった。



←配布した
クリアファイル

作成枚数：8, 000 枚

③物産観光情報センターにおける物産展示、販売の実施

県から管理運営を受託している滋賀県東京観光情報センター（ゆめプラザ滋賀）において、首都圏における振興拠点として本県物産の展示紹介と販売を行った。



大近江展抽選会場

④県首都圏情報発信拠点等における物産振興

今年度より県から運営委託されている、日本百貨店の「ちゃばら」の商品選定のため、ビューロー以外の関係団体への案内も行き、「ちゃばら」バイヤーとの商談会を開催した。



ちゃばら商談会（コラボしが21）

開催日時：平成28年7月27日（水）

開催場所：コラボしが21 3階

参加社数：29社

取扱社数：12社

(3) 観光土産品審査等事業

① 滋賀県観光土産品公正表示等認定審査会の実施

主催：滋賀県観光土産品公正取引協議会

審査日：平成28年11月7日（月）

11月8日（火）

参加企業：11社30品目

審査結果：11社30品目すべてが推奨品として認定

推奨期間：平成29年4月1日～平成31年3月31日

審査会について新聞社2社から取材があり、観光土産品認定のPRが図れた。

審査会の掲載記事（京都新聞）



② 全国推奨観光土産品審査会への参加

主催：日本商工会議所・全国観光土産品連盟

審査日：平成28年11月18日（金）

審査会場：東京都千代田区内神田 TCUビル全国観光土産品連盟

審査結果：4社10品目すべてが推奨品として認定

推奨期間：平成29年4月1日～平成31年3月31日

(4) オリジナル商品の開発検討

会員のコラボ商品の開発に向けて、他社事例やパッケージ、訴求方法等を調査し、平成28年11月2日（水）に開催した「びわ湖あきんどアドバンスプロジェクト」会議で協議検討した。

(5) 第12回滋賀のええもんコンクール

西武大津店で開催される「滋賀のええもんうまいもん祭り」にあわせて会員の生産する特産品を展示して、来場者に気に入った商品に投票をしてもらうコンクールを実施した。上位 10 品目はビューローのホームページに掲載し、広く紹介を行った。



滋賀のええもんコンクール（西武大津）

- ・日 時：平成 28 年 10 月 5 日(水)～11 日 (火)
- ・会 場：西武大津店 6 階
- ・参加社数：46 社 (46 商品)
食品 35 社 (35 商品)、民工芸品 11 社 (11 商品)
- ・投票総数：2,893 票 昨年 2,251 票
- ・結 果
 - 最 優 秀 賞：近江今津西友「うなぎ炭火焼蒲焼」 214 票
 - 食品部門優秀賞：元祖阪本屋「鮎ずし飯漬」 163 票
 - 工芸部門優秀賞：唐橋焼窯元「ストライプマグカップ」 174 票

(6) 奨励事業

市町の物産協会等が実施する行事について助成した。

事業名	実施年月日	主催者名	補助金(円)
「びわ湖環境ビジネスマッセ」物産展	H28. 10. 19 ~ 10. 21	(公社)彦根観光協会 会長 一圓 泰成	20,000
金山キャンペーン	H29. 1. 14	びわ湖大津観光協会 会長 太刀川 克己	20,000
左義長まつり物産展示即売会	H29. 3. 11~ 3. 12	近江八幡観光物産協会 会長 森嶋 篤雄	20,000

8 観光物産情報センターの受託管理

県から管理運營業務を受託している東京観光物産情報センター（ゆめぷらざ滋賀）において、首都圏における観光・物産振興拠点施設として、積極的かつ効果的な事業展開を図るとともに、同じく県から受託している首都圏発信事業を実施した。

(1) 管理運營業務

① 関係機関等との連携により観光・物産情報の収集・提供・発信

- ・ 滋賀県内各団体の首都圏における活動（マスコミ訪問等）に対する支援
- ・ 物産展（日本橋高島屋 近江味紀行 年 1 回開催）の支援、イベントへの出展
- ・ センター内常設展（19 者参加）および同企画展開催（年間 10 回）
- ・ 県内会員（観光・物産）への情報提供、販路拡大支援等

② 旅行会社やマスコミ等への営業活動・情報発信の展開

ア マスコミへの取材協力

- ・テレビ、ラジオ（日本テレビ、テレビ朝日、TBS、テレビ東京 他）
- ・新聞、雑誌等（旅の手帖、旅行読売、男の隠れ家、月刊コロムブス、朝日新聞、読売新聞、東京新聞、産経新聞、サンケイスポーツ、旬刊旅行新聞 他）

イ 旅行エージェントの国内旅行商品化、拡大のためイベント、観光情報の提供

- ・JR 東海ツアーズ、JTB、日本旅行、近畿日本ツーリスト、クラブツーリズム、朝日旅行、阪急交通社、三越伊勢丹トラベル、東武トップツアーズ等各旅行会社への情報提供
- ・情報提供事業（近畿6府県合同） 年3回
- ・近畿6府県合同エージェント交流会（都道府県会館） 年1回
- ・滋賀県観光推進東京協議会 定例会・キャラバン 各年2回
- ・出版社や報道機関等へのイベント・観光情報・物産情報の提供によるパブリシティの展開

③ 来所を促進する魅力あるセンター運営とセンター事業の発信

ア 魅力あるセンター運営

来所者への観光案内・資料提供、特産品販売、在京観光物産業者との連絡、報道機関等への資料提供などを実施した。

イ 観光情報誌発行と県内情報の発送

年5回、約800部発行の「シグナル滋賀」に企画展・館内情報の紹介、首都圏でのイベント、県内情報を掲載し、県内パンフレットと併せて発送した。

(2) 首都圏情報発信事業

首都圏における旅行エージェントやマスコミ、各種団体等への積極的な営業活動を実施した。

① 営業・プロモーション活動

旅行会社等へのプロモーション活動やイベント等を活用した情報発信を行い、観光振興事業や観光地等の積極的な情報発信・営業活動を行った

- ・旅行会社：18社・支店
- ・マスコミ：10箇所

② 催事・イベント等を活用した情報発信

イベント等の機会を捉えて、県内観光地等の情報発信を行った。

(主な催事・イベント)

- ・「銀座柳まつり」(5月 銀座)
- ・「有楽町祭」(7月 東京交通会館)
- ・「国立能楽堂物産展」(7月延べ5回)
- ・「忍者祭」(8月 スカイツリー)
- ・「ちゃばら 1周年記念イベント」(9月 秋葉原)
- ・「東京国立博物館物産展」(10月 上野)

- ・「自由民主党物産展」(10月 永田町自民党本部)
- ・「秋の近江味紀行」(11月 日本橋高島屋)
- ・「江戸東京博物館物産展」(1月 両国江戸東京博物館)
- ・「近江ゆかりの会」(2月 品川プリンスホテル)
- ・「東京海上日動火災マルシェ」(2月 東京海上日動火災本社)
- ・「湖南地域観光協議会首都圏イベント」(2月 東京交通会館)
- ・「One Day EVENT 滋賀区」(3月 東京お台場)

9 観光物産事業功労者等の表彰

観光物産事業の発展、振興に功労のあった個人、団体および優良従業員の表彰を定時総会の場で行った。

- ・観光事業功労者 9名
堀川弥二郎、一圓泰成、若林 進、向井義治、中野幸彦、小林福一、栗野伊作、加納 学、大西明弘(敬称略)
- ・優良団体 2団体
滋賀県麻織物工業協同組合(近江上布伝統産業会館)
朽木新本陣日曜朝市組合
- ・優良従業員 21名

10 関連事業への参画・後援等

次の各事業に参画するとともに、地域の観光物産関連団体等が実施する事業等について後援した。

(1) 日本遺産「水の文化」ツーリズム推進協議会への参画

平成27年に文化庁により認定された「琵琶湖とその水辺景観-祈りと暮らしの水遺産」を推進する協議会の事務局を担い、日本遺産の認知度向上や受入環境整備への取組を進めるとともに、平成29年度に実施する「日本遺産 滋賀・びわ湖 水の文化ぐるっと博」に向けた各種プログラムの造成等に努めた。

① 「日本遺産 滋賀・びわ湖 水の文化ぐるっと博」開催計画の策定

平成29年度に実施を予定している「日本遺産 滋賀・びわ湖 水の文化ぐるっと博」を円滑・着実に実施していくため、事業(展開)構成や各事業の方向性・取組内容等をまとめた事業計画を作成した。

② 日本遺産の認知度向上に向けた取組

ア 日本遺産ウェブサイトの運営

日本遺産ウェブサイトの運営を継続して日本遺産の発信・PRを行うとともに、追加認定された構成文化財等への対応などを行った。

イ 各種媒体や機会等を活用した日本遺産の情報発信

観光情報誌「るるぶ滋賀・びわ湖」や「るるぶドライブ関西」およびスマートフォンアプリケーション「週刊じゃらん」へ日本遺産情報を掲載して、媒体の知名度等を活用した日本遺産の発信・PRを行った。また、文化庁主催の日本遺産サミットや国内最大の旅行博である「ツーリズム EXPO ジャパン」をはじめ、観光展やイベントなどの各種機会を活用した広報・PRを行うとともに、これに活用するPRツール等を作成した。



ウ 連携による日本遺産情報発信事業

大学と連携して、学生が日本遺産構成文化財を訪問し、若者目線で感じたことをデザインで表現したポスターを作成し、展示会等で日本遺産のPRを行った。また、企業との連携により、学生が作成したデザインを活用し、日本遺産を自ら学ぶツールとして日本遺産学習ノートを制作した。

エ 日本遺産所在三府県連携情報発信事業

日本遺産の認定を受けた近隣府県（京都府・福井県）と連携し、NEXCO 西日本・中日本の協力を得て、回遊性が高い沿線の高規格道路（高速道路）を活用した周遊観光に繋げるドライブキャンペーン（ドライブパスの販売）を行い、広域観光の促進による観光誘客に取り組んだ。

京都・若狭・びわ湖ぐるっとドライブパス 2016

期 間：平成 28 年 7 月 1 日（金）～11 月 30 日（水）

利用実績：4,129 人

オ 日本遺産フォーラム

日本遺産「琵琶湖とその水辺景観－祈りと暮らしの水遺産」の魅力発信し、認知度向上を図るとともに、平成 29 年度に開催する「日本遺産 滋賀・びわ湖 水の文化ぐるっと博」を県一丸となって盛り上げるために日本遺産フォーラムを開催した。

開 催 日：平成 29 年 2 月 21 日（火）

開催場所：ピアザ淡海

特別講演：ロバートキャンベル氏

「文化資源を活かした魅力発信と賑わいの創出を目指して」

カ 日本遺産講座

日本遺産の魅力発信し、日本遺産を親しみ、理解を深めていただくため、滋賀県ゆかりの人物（白洲正子、織田信長）の視点によって日本遺産を紹介する講座を開催した。

また、米原地域において、点在する構成文化財の理解を進めるため、日本遺産を学ぶ連続講座を開催した。

- ・講座：白洲正子の目線で楽しむ日本遺産－その祈りと美

開催日：平成 28 年 9 月 11 日（日）

場 所：滋賀県立安土城考古博物館 セミナールーム

- ・講座：織田信長の目線で楽しむ日本遺産－その暮らしと力

開催日：平成 28 年 11 月 6 日（日）

場 所：滋賀県立安土城考古博物館 セミナールーム

・講座：米原の「日本遺産」を学ぶ連続講座

第 1 回：平成 29 年 3 月 4 日（土） 醒井にいます水の神々

第 2 回：平成 29 年 3 月 18 日（土）琵琶湖を潤す水源の魅力

第 3 回：平成 29 年 3 月 25 日（土）水への祈り－米原市の太鼓踊り

③ 地域の魅力向上・受入環境の整備に向けた取組

ア 地域観光素材の磨き上げによる着地型ツアー・観光プログラムの造成促進

日本遺産（構成文化財）を中心とした観光まち歩きや周遊観光の促進を図るため、各地域にコーディネータを派遣して、地域の観光協会をはじめ関係者を交えて検討協議しながら、「日本遺産 滋賀・びわ湖 水の文化ぐるっと博」に向けて日本遺産を活用する着地型ツアーやまち歩き・体験プログラム等の造成を行った。また、造成した着地型ツアーの旅行商品化を図るため、説明会や商談会等の機会を活かし、旅行エージェント等への PR・セールス等を行った。

着地型旅行商品の造成 33 プログラム

地域観光プログラムの造成 約 60 プログラム

イ 日本遺産ボランティアガイド養成講座

日本遺産のストーリーを核に、共通要素をもとにした構成文化財の繋がりを中心に解説し、様々な構成文化財を共通項で繋げてストーリーとして説明できるガイド養成に取り組んだ。

全体講座「日本遺産琵琶湖を紡ぐ物語とは」

平成 29 年 3 月 16 日（木） コラボしが 21

地域別講座「日本遺産琵琶湖における各エリアの特性とその物語」

大津・高島地域 平成 29 年 3 月 22 日（水） コラボしが 21

近江八幡・東近江地域 平成 29 年 3 月 23 日（水） 近江八幡商工会議所

彦根・米原・長浜地域 平成 29 年 3 月 27 日（月） 彦根商工会議所

ウ 公開活用整備事業

構成文化財への日本遺産案内板や周辺からの構成文化財へ誘導を図るための案内板等を設置し、来訪者への受入環境整備に取り組んだ。

大津地域 5 基（延暦寺、日吉大社、園城寺、石山寺、西教寺）

長浜地域 2 基（竹生島、長浜港）

高島地域 1 基（シコブチ信仰：小川思子淵神社）

東近江地域 16 基（伊庭 10 基、五個荘金堂 6 基）



大津市（西教寺）



長浜市（竹生島・長浜港）



東近江市（伊庭・誓教寺）



東近江市（五個荘・誘導表示）

（2）第33回 2016 びわ湖大花火大会への参画

開催日 平成28年8月8日（月）
 会場 大津港一帯
 主催 びわ湖大花火大会実行委員会
 来場者数 約35万人

（3）第3回 FAIRY TRAIL びわ湖高島トレイルランニング in くつき事業への参画

開催日 平成28年10月29日（土）～30日（日）
 開催場所 高島市 朽木
 主催 高島くつきトレイルランレース実行委員会

（4）第6回 びわ湖一周ロングライド2017事業への参画

開催日 平成29年3月11日（土）～12日（日）
 主催 びわ湖一周ロングライド実行委員会

（5）淡海観光ボランティア連絡協議会への参画

総会 平成28年5月19日（木）
 交流研修会 平成28年6月22日（水）
 代表者会議 平成28年12月8日（木）

（6）その他関連事業への後援等

県域観光物産関連団体等が実施する観光物産振興事業等を後援した。
 後援した行事および企画 68件

11 会員等との連携の強化

（1）会員とビューロー、会員相互のコミュニケーションの充実

① 「会員通信メール」の配信

会員の皆様にビューローが展開する事業を知っていただくため、メールマガジン「会員通信」メールを配信した。

・年間 23回配信（号外1回含む。）

② 地域懇談会の開催

会員の意見を反映してビューローの事業を進めるため、ビューローの役員と事務局スタッフが県内の各地に出向いて地域懇談会を開催し、会員と直接、意見交換をした。

ア 第1回 地域懇談会 in 長浜

日 時 平成 28 年 5 月 27 日 (金)
15 : 00 ~ 16 : 50 地域懇談会 参加者 56 人
17 : 00 ~ 19 : 00 懇親会 参加者 47 人
場 所 長浜ロイヤルホテル
議 題 ・平成 28 年度ビューローの主な事業予定および組織体制について
・意見交換

イ 第2回 地域懇談会 in 近江八幡

日 時 平成 28 年 9 月 9 日 (金)
15 : 00 ~ 17 : 00 地域懇談会 参加者 63 人
17 : 30 ~ 20 : 00 懇親会 参加者 55 人
場 所 滋賀県立男女共同参画センター (地域懇談会)
毛利志満本店 (懇親会)
議 題 ・平成 28 年度ビューローの主な事業の進捗状況について
・滋賀県東近江地域の観光動向について
・意見交換

ウ 第3回 地域懇談会 in 草津

日 時 平成 28 年 11 月 28 日 (月)
15 : 00 ~ 17 : 00 地域懇談会 参加者 64 人
17 : 15 ~ 19 : 30 懇親会 参加者 49 人
場 所 ホテルポストプラザ草津びわ湖
議 題 ・平成 28 年度ビューローの主な事業の進捗状況について
・滋賀県湖南地域の観光動向について
・意見交換

エ 第4回 地域懇談会 in 甲賀

日 時 平成 29 年 1 月
26 日 (木)
15 : 00 ~ 17 : 00 地域懇談会 参加者 54 人
17 : 30 ~ 19 : 30 懇親会 参加者 33 人
場 所 あいこうか市民ホール (地域懇談会)
宮乃温泉 (懇親会)
議 題 ・平成 28 年度ビューローの主な事業の進捗状況について
・滋賀県甲賀地域の観光動向について
・意見交換

(2) 県、市町、観光協会等との連携の強化

県と協力して、各市町、観光協会との情報や意見交換の場として、観光事業説明会を開催した。

日 時 平成 28 年 4 月 18 日 (月)

場 所 大津市勤労福祉センター

議 題

- ・大型観光キャンペーンおよび日本遺産魅力発信事業について
- ・観光まちづくり事業について
- ・おもな年間行事予定について